

横浜市少年自然の家（赤城林間学園・南伊豆臨海学園）の指定管理者の指定について

1 指定候補者の選定について

(1) 審査結果

（赤城林間学園）

3団体の応募があり、（財）横浜市体育協会が指定候補者として選定されました。

（南伊豆臨海学園）

2団体の応募があり、（財）横浜市体育協会が指定候補者として選定されました。

(2) 審査講評

横浜市の施策や施設の課題を十分に把握して提案に反映させているなど、提案内容が優れていました。

2 指定期間

横浜市少年自然の家（赤城林間学園・南伊豆臨海学園）の指定管理について、平成23年4月1日からの第2期の指定期間を3年間とします。

第1期 平成18年4月1日～平成23年3月31日（5年間）

第2期 平成23年4月1日～平成26年3月31日（3年間）

3 指定期間を3年間とする理由

両施設とも開設後30年以上経過し、施設の老朽化が著しくなっています。

このため、標準の指定期間である5年より短くし、3年の間に施設のあり方を検討することといたしました。

「横浜市事業評価会議」（平成22年8月開催）の結果も受けて、両施設を含む野外活動施設等のあり方を検討しているところです。

4 施設の概要

裏面のとおり

横浜市少年自然の家概要

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|-----|--------|--------|---|-----|--------|--------|
| 目 的 | 恵まれた自然環境のなかでの集団宿泊生活、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上を図るとともに豊かな情操及び社会性を培い、心身ともに健全な少年を育成するため、横浜市少年自然の家を設置する。 | | | | | | | |
| 事 業 | 1 集団宿泊生活の指導に関すること 2 野外活動、体育及びレクリエーション活動に関すること 3 自然観察その他の自然に親しむ学習活動に関すること等 | | | | | | | |
| 使用者の範囲 | 1 横浜市内の少年団体 2 横浜市内の小学校、中学校、中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童生徒の団体 3 上記2団体の指導者又は引率者 4 その他教育委員会が認めた者 | | | | | | | |
| 施設概要 | 赤城林間学園 | | | | 南伊豆臨海学園 | | | |
| | 群馬県利根郡昭和村糸井7135 開設年月日：昭和54年4月1日 敷地面積： 594,298㎡ 延床面積： 5,142㎡（RC2階） 1,464㎡（雨天集会場） 宿泊定員：400人、キャンプ場：400人 （キャンプ場の開設は昭和47年） | | | | 静岡県賀茂郡南伊豆町子浦1437 開設年月日：昭和55年11月22日 敷地面積： 8,642㎡ 延床面積： 2,764㎡（RC3階） 宿泊定員： 200人 | | | |
| 第1期指定管理者 | （財）横浜市体育協会 平成22年度指定管理費 79,104千円 | | | | （財）横浜市体育協会 平成22年度指定管理費 54,174千円 | | | |
| 利用状況 | 年度 | 団体 | 実人数(人) | 延人数(人) | 年度 | 団体 | 実人数(人) | 延人数(人) |
| | 19 | 358 | 13,902 | 37,896 | 19 | 229 | 9,688 | 28,811 |
| | 20 | 368 | 14,043 | 39,163 | 20 | 225 | 10,605 | 31,561 |
| | 21 | 365 | 13,814 | 37,897 | 21 | 200 | 10,295 | 30,309 |
| (平成21年度) | うち小中学校の利用 団体 20%、人数 58% うち市内小中学校 団体 76% (55校)、 人数 80% 施設利用率(利用日数/開所日数)約 65% | | | | うち小中学校の利用 団体 40%、人数 83% うち市内小中学校 団体 95% (78校)、 人数 90% 施設利用率(利用日数/開所日数)約 56% | | | |
| ※新型コロナウイルスの影響によるキャンセルが多く発生したため、実績が減少 | | | | | | | | |
| 外観 |  | | | |  | | | |